

1. 本県周辺海域の概況(図1, 7/7現在)

- ・黒潮の流型は、N型で推移しています。黒潮本流は犬吠埼にやや接岸し、本県沖合を北東に流去しています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 30′ 東経144° 00′ 付近(岩手県沖)にあります。親潮の面積は平年より大きくなっています。また、東北海域の海面水温は平年より高めで推移していますが、中下層では三陸沖一部海域を除いて低め傾向で推移しています(気象庁6/30発表)。

2. 海洋観測結果(7/1～2: 調査船「いばらき丸」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。海面水温は、会瀬沖で17.5℃～23.6℃, 大洗沖で19.5～23.9℃, 鹿島沖で21.3～24.2℃, 犬吠埼沖で19.9℃～23.7℃でした(①, 図2)。
- ・前月と比べると、犬吠埼沖を除き表層～下層の広い範囲で昇温しました。特に、会瀬沖142° E付近および鹿島沖141° 30′ E付近で顕著に水温の上昇が見られました(～+12.8℃)(②)。
- ・平年と比べると、表層では暖水波及の影響により、茨城県沖の広い範囲で「平年並～やや高め」となりました。一方、50m～200m深では、沿岸域で「平年よりやや低め」、沖合で「平年並～やや高め」となりました(③)。
- ・潮流の特徴として、今回の観測では142° Eまでの範囲で黒潮の強い流れは見られませんでした。また、会瀬～大洗の沿岸域では、やや強い逆潮(0.4～0.7ノット)が観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・黒潮流型はN型で推移するでしょう。黒潮流路は、犬吠埼沖に接岸しながら北東に流去するでしょう。
- ・親潮の面積は平年より大きめで推移する見通しで、親潮第一分枝の先端は北緯39° 00′ 東経143° 30′ (岩手県沖付近)に停滞するとみられます。
- ・水温を平年と比べると、表層では暖水波及の影響が残り、茨城県沖全域で「高め基調」で推移するでしょう。一方、50m～200m深では冷水波及の影響が残存し、会瀬～鹿島沖の広い範囲で「平年並～やや低め」で推移するでしょう。

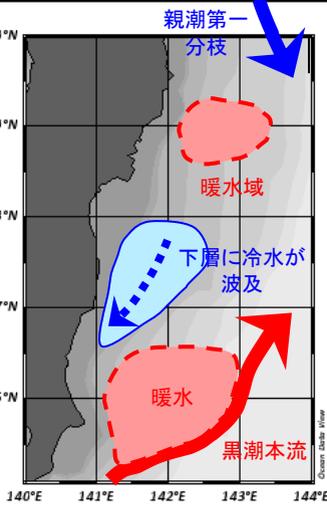


図1 海況の概要
(7月7日現在)

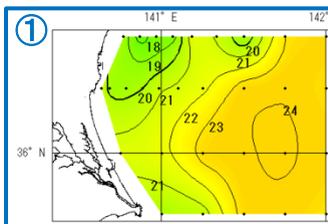


図2 海面水温(°C)

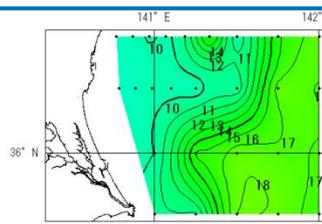


図3 50m深水温(°C)

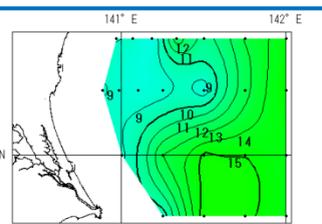


図4 100m深水温(°C)

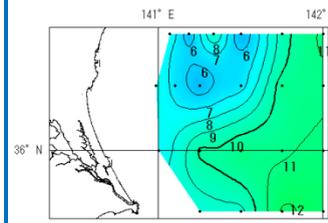


図5 200m深水温(°C)

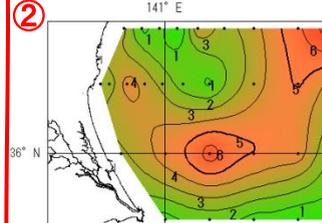


図6 海面水温前月差(°C)

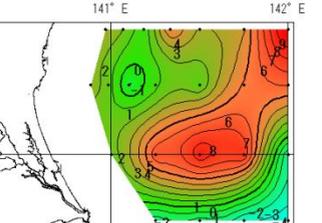


図7 100m深水温前月差(°C)

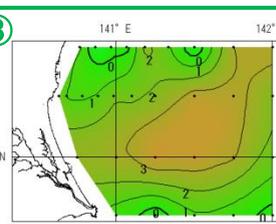


図8 海面水温平年偏差(°C)

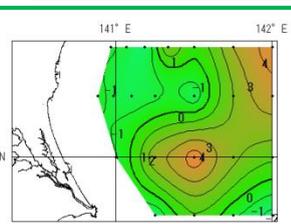


図9 100m深水温平年偏差(°C)

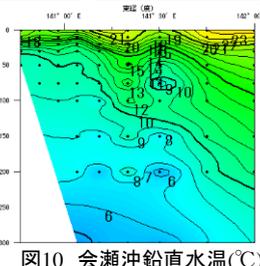


図10 会瀬沖鉛直水温(°C)

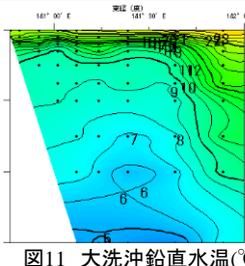


図11 大洗沖鉛直水温(°C)

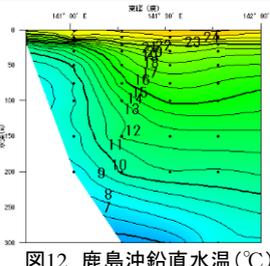


図12 鹿島沖鉛直水温(°C)

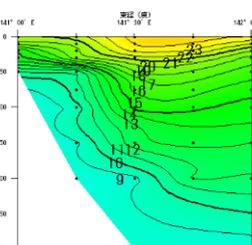


図13 犬吠埼沖鉛直水温(°C)

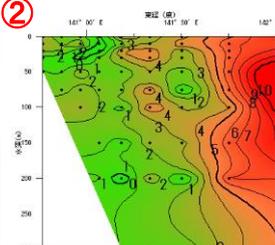


図14 会瀬沖鉛直水温前月差(°C)

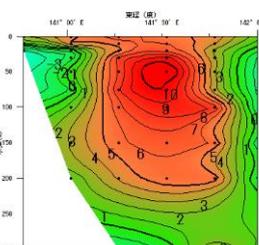


図15 鹿島沖鉛直水温前月差(°C)

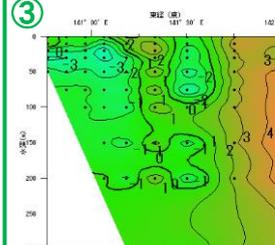


図16 会瀬沖鉛直水温平年偏差(°C)

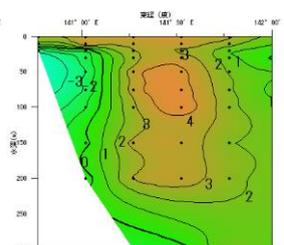


図17 鹿島沖鉛直水温平年偏差(°C)